

鳥羽高校は、平成 27 年度より SGH 校として新たな価値を創造するグローバル・リーダーの育成に取り組んでいます。

平成 30 年度の新しい取組

- ◆ 第 2 回鳥羽グローバル・サミットを、昨年度より多い 21 の国・地域から 33 名の海外大学生及び留学生を招き実施
- ◆ 英語を用いた「総合数学」「京都の風土・世界の風土」の授業 ◆ 「第 2 外国語Ⅱ」（中国語・韓国語・フランス語）

SGH 指定 4 年目の主な授業内容

	総合的な学習の時間及び学校設定科目	内 容
1 年生	イノベーション探究Ⅰ	京都・海外フィールドワーク等とおした新たな価値の再発見
	グローバル・コミュニケーションⅠ	京都の伝統・文化をテーマとした英語プレゼンテーション
	ソーシャル・インテリジェンス	ICT スキルと統計学を用いた社会の諸問題の多角的分析
2 年生	イノベーション探究Ⅱ	価値観の対立するグローバル・イシューの解決に向けた協働研究
	京都の風土・世界の風土	京都と世界諸地域の風土・文化における関係性の考察
	グローバル・コミュニケーションⅡ	批判的思考力・表現力を育成する英語ディベート・英語論文作成
3 年生	イノベーション探究Ⅲ	世界の大学生とともに地域・言語・世代を超えた新たな価値を提言
	グローバル・コミュニケーションⅢ	課題研究内容に関する英語論文作成・ディスカッション

1 年生 「イノベーション探究Ⅰ」の取組から

「資料論」「地域遺産論」～文化財を創ろう～

5 月 26 日（土）に京都文化博物館の村野正景・西山剛両学芸員をお招きし、ワークショップを実施しました。身近なものでも文化財になり得ることを知り、資料を「創造」する意義を学びました。また、実際に土器などの本物の資料に触れて調書を作成し、資料を「創造」するための情報の引き出し方を体験しました。



フィールドワーク&ワークショップ入門

6 月 9 日（土）に福知山公立大学の杉岡秀紀准教授と大学生 2 名・本校卒業生の社会人 1 名を TA として招き、ワークショップを実施しました。TA 3 名の方の社会経験をお伺いするインタビュー体験から、グループで協働して学習する大切さを学びました。



2 年生 「イノベーション探究Ⅱ」の取組から

京都光華女子大学課題研究ワークショップ

5 月 12 日（土）に本校卒業生である乾明紀准教授をお招きして、ワークショップ「鳥羽高校の課題研究について」を実施しました。課題研究の必要性を理解したうえで、「どこの?」「誰の?」「いつの?」「どのようにな?」といった小さな問いで、現時点での仮の研究テーマを掘り下げました。



国立民族学博物館フィールドワーク

5 月 26 日（土）に国立民族学博物館企画課課本資料係の小関万緒氏によるワークショップを実施し、博物館の機能や仕事について学びました。その後、特別展「太陽の塔からみんぱくへ」及び常設展示を見学し、共生社会をめざして人類規模・地球規模で考える態度を養いました。



大阪大学課題研究ワークショップ

6 月 9 日（土）に進藤修一教授、柿澤寿信講師をお招きして、ワークショップ「よい研究発表とはどのようなものか?」を実施しました。研究目的が明確であること、思考に分析と論理が含まれていること等がよい研究発表の条件であることを理解しました。8 月にはアカデミック・ライティング講座に臨みます。



3年生 「イノベーション探究Ⅲ」の取組から

鳥羽グローバル・サミット（7月実施）に向けて、2年次に取り組んだ「イノベーション探究Ⅱ」における課題研究内容について、「グローバル・コミュニケーションⅢ」との教科横断的な授業をとおし、英語による論文作成とディスカッションの練習を行いました。

鳥羽グローバル・サミット

7月11日（水）から7月15日（日）にかけて、海外大学生、京都府名誉友好大使、きょうと留学生ハウスの留学生の協力のもと、21の国・地域から合計33名のTAをお招きし、鳥羽グローバル・サミットを開催しました。「イノベーション探究Ⅲ」において課題研究発表会を実施し、「グローバル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「京都の風土・世界の風土」「総合数学」における協働学習、グローバル・ランチやカフェでの交流、「KYOTO フィールドワーク」を行いました。

「イノベーション探究Ⅲ 英語論文発表・ディスカッション」

3年間にわたる課題研究の集大成として、事前に作成した英語論文をもとに、海外大学生・留学生と英語でディスカッションを行いました。テーマごとに分かれて、地域・言語・世代を超えた新たな価値を提言しました。

◆ 研究テーマ例：世界の食糧問題の解決、長時間労働の解消、発展途上国の学習環境改善



生徒の感想より

☞ 1年間かけて準備してきたが、海外大学生から今までと異なる視点の提案を受け、自分の視野の狭さを痛感した。自分と異なる価値観にもっと触れたいと思った。

「グローバル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ」



1年生は京都の伝統・文化をテーマとした英語プレゼンテーション、2年生はグローバル・ 이슈について英語でディベートを行いました。「イノベーション探究Ⅰ・Ⅱ」の課題研究内容と関連させつつ、論理的思考力と英語表現力を養う取組を実施しました。

◆ ディベートのテーマ例：日本の難民受け入れについて

「京都の風土・世界の風土」



地形図を用いて京都の都市域の変遷を実感した後、地図中からシンガポールと上海の立地条件を読み取り、海外大学生との対話等をヒントに日本の文化や価値観との共通点・相違点を認識して今後の都市のありかたを考察しました。

「総合数学」



英語と日本語の数学表現における概念定義や表記の仕方の違いを認識した上で、海外大学生と協働して課題解決に取り組みました。数学は世界共通語の1つであることを学びました。



「KYOTO フィールドワーク」

「京の智」の再発見を目的とし、海外大学生とともに、京都市内（天龍寺、高台寺、安井金比羅宮等）でフィールドワークを実施しました。外国人観光客への英語によるインタビュー調査等から、市販のガイドブックには載っていない新たな京の魅力について考察し、課題研究発表会において英語でプレゼンテーションを行いました。

生徒の感想より

☞ はじめは緊張したが、英語を使って京都の魅力や自分の気持ちを伝えることができた。これからさらに英語力を向上させたい。

JICA 関西ワークショップ

7月27日（金）、公益社団法人青年海外協力協会 JOCA 大阪代表の河合憲太氏（本校卒業生）と職員の吉田悦子氏をお招きし、JICA 関西ワークショップを行いました。1年生グローバル科全員と1年生普通科及び2年生の希望者合計88名が参加し、多国籍住民が住む町内会で誰もが安心して暮らせる方法をロールプレイ形式で考え、価値観の違いを尊重し、多文化間で協働する大切さを学びました。



今後の SGH 行事予定

▶ ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/toba-hs/>

平成 30 年	9月	京都府海外サテライト校（夏期オーストラリア）中期留学
	10月	SGH 上海海外研修、秋の歌会、京都府立図書館レファレンス
	11月	SGH 事業研究発表会・「イノベーション探究Ⅱ」ポスターセッション
	12月	SGH 全国高校生フォーラム、SGH 台湾海外研修
平成 31 年	1月	京都府海外サテライト校（冬期オーストラリア）中期留学、立命館大学「イノベーション探究Ⅰ」課題研究宿泊研修
	2月	「イノベーション探究Ⅰ」課題研究発表会、グローバルネットワーク京都交流会